

J-SLA ニュースレター 2018 年 7・8 月号

(The English version is placed after the Japanese version)

会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。  
暑い日々が続きますが、お健やかに過ごしてください。

-----  
<今号の内容>

1. 2018 年度年次大会について（報告）
2. 2018 年度年次大会口頭発表優秀賞について
3. 学会誌 *Second Language* 論文募集
4. 学会誌 *Second Language* への J-STAGE を通したアクセス状況
5. 2018 年度 J-SLA 秋の研修会
6. 2018 年度第二回総会開催

-----  
**1. 2018 年度年次大会について**

日本第二言語習得学会・第 18 回年次大会（J-SLA2018）が 2018 年 6 月 16 日・17 日に学習院大学にて行われました。

参加者の実人数は、一般会員 105 名 学生会員 61 名でした。

また、今回の大会の発表申込数と採択率は以下の通りです。

発表申込数：57 件 + 学生ワークショップ 11 件

採択数：口頭発表 12 件 ポスター発表 20 件

採択率：口頭発表 21% 口頭発表+ポスター発表 56%

**2. 2018 年度年次大会口頭発表優秀賞について**

厳正なる審査の結果、2018 年度年次大会口頭発表優秀賞は以下に決まりました。

Mari Miyao (Kyoto Women's University), Amy Schafer (University of Hawai'i) & Bonnie D. Schwartz (University of Hawai'i). "On integrating syntax and discourse in the L2 production of English referential expressions"

授賞は 2018 年 10 月 28 日（日）の「J-SLA 秋の研修会」の開会式で行われます。

**3. *Second Language* 論文募集**

*Second Language* は日本第二言語習得学会（J-SLA）の学会誌で、年に 1 回発行されています。J-SLA の会員のみが論文を投稿できます。今年度の投稿締切は、9 月 30 日となっています。詳しい情報は、以下のウェブサイトをご覧ください。<http://www.j-sla.org/journal/>

#### 4. 学会誌 *Second Language* への J-STAGE を通したアクセス状況

学会誌 *Second Language* は、J-STAGE を通して、ウェブ上で公開されています。

##### ★2018 年 6 月論文別アクセス数トップ 5

順位	論文タイトル	巻, 開始頁
1	言語習得の臨界期について	3, 3
2	言語理論と教室第二言語習得研究	16, 39
3	Processability Theory (PT) を用いた形態素と統語構造の習得の分析：特別集中日本語コースに参加した英語を母国語とする成人学習者の場合	12, 21
4	英語を母語とする日本語学習者は独立名詞を標準アクセントで生成するのか？	10, 15
5	学習者の振る舞いを記述するために言語理論が必要なのはなぜか	12, 81

##### ★2018 年 6 月国・地域別アクセス数ランキング

順位	国・地域	書誌事項	全文 PDF
1	日本	257	168
2	北アメリカ(アメリカなど)	40	19
3	東アジア(中国など、日本含まず)	37	44
4	西ヨーロッパ (イギリスなど)	4	19
5	東南アジア(インドネシアなど)	1	4
	その他	1	6
	合計	340	260

#### 担当者の分析とメッセージ

##### <分析>

○最新巻が公開されてからしばらく経つためか、それ以前の論文も、今回は上位にランキングされた。○書誌事項へのアクセス数が、最新巻が公開された直後（4 月）の 312 から 340（6 月）へと更に伸びている。今後、全文 PDF へのアクセス数も更に伸びると期待される。○国内からの書誌事項アクセス数が 189（4 月）から 257（6 月）へと伸びているものの、海外からのアクセス数は若干減少している。

<メッセージ>

J-STAGE で公開されている *Second Language* 掲載論文を文献研究・先行研究の確認に、より一層ご活用ください。

注 前号（2018 年 6 月号）のニューズレターでお伝えした「論文アクセスランキング」は編集搭載システム以降の情報（第 8 巻以降）のみに基づいておりました。今回は第 1 巻からの情報となっています。「国・地域別アクセス数ランキング」は、第 8 巻以降の論文を対象としています。なお、<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/secondlanguage/-char/ja> にて、アクセス時点の前月の論文アクセスランキングをご確認いただけます。

## 5. 2018 年度 J-SLA 秋の研修会

2018 年度 J-SLA 秋の研修会を以下の通り開催いたします。発表要旨等は間もなく web サイトにて公開いたします。

日時： 2018 年 10 月 28 日(日) 10:40-17:30

会場： 同志社大学烏丸キャンパス 志高館 110 番教室 (<https://bit.ly/2Ln06lU>)

アクセス <https://www.doshisha.ac.jp/information/campus/imadegawa/karasuma.html>

テーマ：“The acquisition of articles (DPs)（英語の冠詞の習得）”

受付：10:30～

発表：10:40-11:40: Snape, Neal (群馬県立女子大学)

11:50-12:50: Gil, Kook-Hee (シェフィールド大学)

昼食：12:50-13:50

総会：13:50-14:10

発表：14:10-14:50: 小川睦美 (日本大学)

14:50-15:30: 山田一美 (関西学院大学)

15:30-16:10: 若林茂則・木村崇是 (中央大学)

16:20-17:30: ラウンドテーブルパネルディスカッション（発表者全員）

使用言語：英語

参加費：1,000 円（会員・非会員、学生・一般に関わらず）

## 6. 2018 年度第二回総会開催

2018 年 10 月 28 日(日) 13:50-14:10 に、2018 年度 J-SLA 秋の研修会の会場で、2018 年度第二回総会を開催いたします。2017 年度会計監査報告、2019 年度行事予定の決定などが行われます。積極的なご参加をお願いいたします。

---

最後までお読みいただきありがとうございました。

暑い日が続きますが、ぜひ、この夏、一つ論文を仕上げて、*Second Language*にお寄せください。秋の研修会も、今年からテーマを定めて行うこととなりました。英語の冠詞や名詞句の習得を研究なさっている皆様も、そうではない皆様もぜひご参加ください。鋭い質問・コメント、激しい議論、大歓迎いたします。どうぞ宜しくお願い致します

ニューズレター及び J-SLA に関する問合せ：若林茂則<swkbys37[at]tamacc.chuo-u.ac.jp>